

平成 27 年度修士論文

修論作成のためのテンプレート

指導教員：情報 太郎

学籍番号
7000-0000

静大 花子

静岡大学大学院情報学研究科
情報学専攻

目 次

第 1 章 序論	2
1.1 章立の際の注意点	2
1.2 BibTeX の使い方	2
参考文献	5
著者発表論文	6

第1章 序論

こんな感じで章ごとにファイル分けるといいよ

1.1 章立の際の注意点

documentclass が jbook だから chapter が章で section が節. ipsj と違うので注意.

1.2 BibTeX の使い方

bib ファイルに情報を追加することで，勝手に参考文献リストを作ってくれる．本文中で参照していない（cite を使っていない）文献については，bib ファイルに記述されていても参考文献リストに出力されないので注意¹．

bib ファイルを使いたい場合，bib ファイルもコンパイルする必要がある．環境によって差異はありそうだが，まずいつも通り LaTeX を実行し，pBibTeX を実行した後，また LaTeX に 2 度かける．もっといい方法がありそうだが，とりあえず合計 4 度のコンパイルをする．参考文献関係の箇所での更新がない限り，通常のコンパイルで問題はない．

以下は，BibTeX 情報を取得する方法である．

文献情報マネージャ

☐ 文献取り込みリンクを表示しない
☒ BibTeX ⇅ への文献取り込みリンクを表示する

図 1.1: Google Scholar の設定

¹参照されているか否かに関わらず，bib ファイルに記述されている文献リストを全て参考文献として出力するコマンドもある

Google Scholar から簡単に取得できる。まずは BibTeX を取得できるように、Google Scholar の「設定」から変更する (図 1.1)。



図 1.2: BibTeX 情報の取得

そしたら、通常どおり検索をする。検索結果一つ一つに「BibTeX に取り込む」というリンクが表示されるようになっている (図 1.2)。

```
@article{内藤裕史2001論文の書き方,
  title={論文の書き方},
  author={内藤裕史},
  journal={茨城県立医療大学紀要},
  volume={6},
  pages={9--21},
  year={2001},
  publisher={茨城県立医療大学}
}
```

図 1.3: BibTeX 情報の例

リンクをクリックすれば BibTeX 情報が表示される (図 1.3)。これを bib ファイルに貼り付けていく。この論文を参照するとこんな感じになる [1]. 「内藤裕史 2001 論文の書き方」の部分が参照するために必要な箇所。ちなみにこの方法で Google Scholar から BibTeX 情報を取得すると、おかしい部分があったりするので、適宜手動で修正する。

謝辞

本研究の全過程を通じてご指導頂きました静岡大学大学院情報学研究科の情報太郎教授，ならびに hoge 大学 fuge 学部の hogefuge 助教に深く感謝するとともに，厚く御礼申し上げます．また，本研究のに対するご指導・ご助言を頂きました，静岡大学情報学部の教員の皆様に御礼申し上げます．そして，研究の期間中，ご協力頂きました酒井研究室の皆様，ならびに実験にご協力頂きました情報学部の学生に心から感謝の意を申し上げます．

参考文献

- [1] 内藤裕史. 論文の書き方. 茨城県立医療大学紀要, Vol. 6, pp. 9-21, 2001.

著者発表論文

- [1] 静大花子, 情報太郎. プログラミング教育の研究. 情報処理学会論文誌, vol.334, pp.334-352, 2014